

## 1. Cinderella, R, Maxima と Sumatra(Windows のみ) をインストールする.

- <https://beta.cinderella.de> (Cinderella)  
注) Windows の場合, 保存してから右クリックして「管理者として実行」を選ぶ.
- <https://cran.r-project.org> (R)
- <https://sourceforge.net/projects/maxima/files> (Maxima)
- <https://www.sumatrapdfreader.org/download-free-pdf-viewer.html> (Sumatra)  
注) Sumatra のインストール先は, オプションで Program Files (または x86) を指定する.

## 2. TeX をインストールしていない場合はインストールする.

- (1) TeXLive を推奨 (2018以降では ketcindy が組み込まれている. ただし更新が必要)
- (2) KeTTex は TeXLive の軽量版で以下からダウンロードできる.

<https://github.com/ketpic/kettex/releases>

注) インストールの詳細は doc>readmemore フォルダにある Readmemore(Mac,Win) を参照.

## 3. KeTCindy のインストール (更新)

- (1) ketcindy を CTAN(<https://ctan.org>) からダウンロードする.
  - ketcindy で検索 > Package ketcindy > **Repository** (最新版)
  - Repository は github サイトにある **最新版** へのリンク  
Code > Download ZIP (フォルダ名は ketcindy-master)
  - Windows の場合 (i) **OneDrive の管轄外で漢字や半角スペースが入らない場所 (C:\ など)** に解凍する.  
(ii) 解凍したら, **ketcindy-master** を **ketcindy** に名称変更しておく (-以降を削除)
- (2) doc にある ketcindysettings.cdy をダブルクリック (画面が狭ければ, 右方向に広げる).
  - 必要なら, 実行プログラムを Cinderella に設定する.
  - 他の cdy ファイルを開いているときは, Cinderella を一旦終了してからにする.
- (3) 画面上のボタン (1)(2) を選択して, (3) を順に実行する.

### [1] 言語などの選択

Language

Japanese  
English

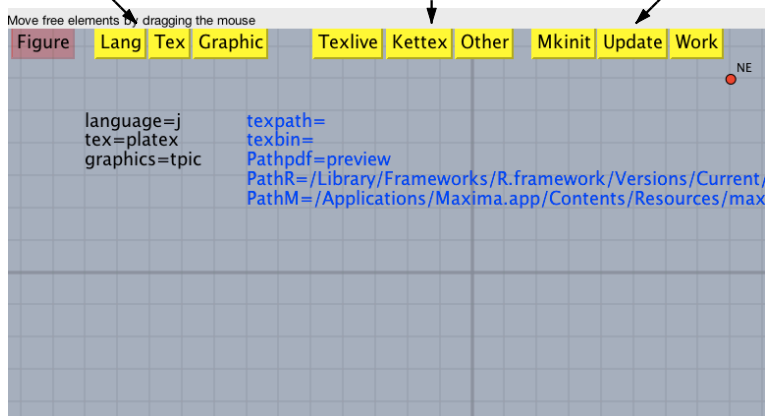
TeX

platex  
uplatex  
latex  
xelatex  
pdflatex  
lualatex

Graphic Code

tpic  
pict2e  
tikz

### [2] TeX システムの選択



### [3] 作成と更新

Mkinit

初期設定ファイル ketcindy.ini を  
ユーザホーム (ホーム) に作成

Update

TeX システムの ketcindy を更新

Work

作業フォルダ ketcindy(+日付) を  
ホームに作成 (samples, templates,  
manual)

## 4. テストラン

- Cinderella をいったん終了, ユーザホーム/ketcindy(+日付)/templates の 1 つのファイルをダブルクリック.
- Figure を押して, pdf が表示されれば成功

## 5. その他

- ketcindy.ini はデフォルトではユーザホームに作られる.
  - CindyScripts>ketlib の 3 行目を `setdirectory(gethome());` とする.
  - Cinderella の Plugins フォルダにコピーした場合は, `setdirectory(plugindir);` とする.
- エディタの設定などについては, doc>readmemore フォルダにある Readmemore(Mac,Win,Linux) を参照.